



発信年月日：令和5年（2023年）3月 31日
所 属 名：高島農産普及課
番 号：H22022
部 門 分 類：150（野菜）
発 信 者 名：中川 北澤 深澤

高島まくわの収量向上を目指した栽培研修会を開催

3月7日に高島市のまくわ生産者を対象に研修会を開催しました。当日は生産者16名、JAレーク滋賀、県、市場担当者など関係者10名が参加し、総計26名が研修会に出席されました。研修会では、県からは新たに作成した「まくわ栽培暦」に基づいて、栽培指導を行い、JAからは出荷規格、市場担当者からはまくわの市況について情報提供をいただきました。

高島地域はまくわが特産として栽培されており、市場出荷を通して量販店で高島地域のまくわが広く取り扱われています。しかし、近年、生産者の高齢化に伴う栽培面積減少やベテランの技術が継承されていないことによる単収の減少が問題となっています。そこで、R5年第1回目の研修会では市場出荷だけでなく、直売所出荷も含めた高島地域のまくわ栽培をされている生産者に対して栽培技術研修会を実施しました。

研修会では当課はベテラン生産者からの聞き取りに基づいて作成した「まくわ栽培暦」を基に栽培技術、特に整枝や誘引作業について重点的に説明しました。

また、京都、大阪の市場担当者からはまくわの情勢について情報提供いただきました。市場担当者からは「昔よりも取扱量は少なくなっているが、高島のまくわは高品質のため今後も是非出荷を継続していただきたい」と話されました。

研修会后、出席者にアンケートを行い、今後も栽培研修会の出席を希望するか質問をしたところ16名中14名が出席したいと回答され、研修会への期待の高さが伺えました。

当課では引き続き、管内のまくわ生産者の安定生産に向けて関係機関と連携し、取組を進めていきます。



新たな栽培暦を用いて栽培のポイントを説明